



南三陸町立歌津中学校

歌津中学校だより



教育目標 志をもち、たくましく未来を拓く生徒の育成

令和5年10月5日

第19号

文責：伊藤 浩志

R5年度 全国少年消防クラブ全国大会出場

9月17日（日）鳥取県の米子市で開催される「少年消防クラブ交流会（全国大会）鳥取大会」に参加するため、9月16日（土）JR気仙沼線（BRT）で南三陸さんさん商店街を朝の7：03に出発しました。その後、仙台空港から伊丹空港を経て出雲空港まで行き、宿泊先の皆生グランドホテル天水に夕方到着しました。夜のセレモニーには全国から集まった300人の参加者が集ったそうです。17日（日）には、競技会が行われ、対抗リレーと障害物競走を実施しました。37の団体が参加した中で、歌津中学校は第4位という素晴らしい結果でした。

歌津中が全国4位

少年消防クラブ交流会

鳥取県でこのほど開かれた全国少年消防クラブ交流会（消防庁主催）で、南三陸町立歌津中学校（熊谷岳校長）の少年消防クラブが4位に入った。生徒たちは「優勝は逃したが練習以上の力を発揮できた」と喜んでいる。

大会は将来の地域防災の担い手育成を図る目的で2012年から始まり、新型コロナウイルスの影響で4年ぶりの北海道から九州までの17道府県から37クラブ、約200人のクラブ員が集まった。歌津中クラブは11年

2月に発足し、全校生徒がクラブ員として活動している。大会には選抜された2、3年生の男女6人が出場した。種目は、壁を越えたり水消火器でボウリングのピンを倒したりしながら全長200メートルを走るリレーと、障害物を越えながら消火用ホースを展張・延長して60メートルの直線距離にあるゴールを目指す「障害物競走」。障害を的確にクリアする技術も問われた。

生徒たちは夏休み中などに7回、南三陸消防署歌津出張所の指導を受けたほか、宿泊先でもロープの結び方などを自主練習。その成果を発揮し、前回出場した16年と同じく4位になった。1位は埼玉、2位は東京、3位は広島だった。

3年の阿部喜公さんは「優勝は逃したが、大きなミスなく、自己ベストのタイムを出すことができた」と振り返った。メンバーは10月22日の同校文化祭で活動の成果を発表する。出場メンバーは次の通り。

▽3年 阿部喜公 佐藤琉生 田沢百佳▽
2年 阿部ひより 山佳士 牧野天飛



現在の練習風景から（9月末撮影）

9月30日（土）三陸新報から

先日行われた「少年の主張」で、発表できなかった松岩中3年の小野寺咲歩さんを歌津中に迎え、10月4日(月)の朝に体育館で「少年の主張」を実施しました。引率教員は昨年度まで本校に在籍していた高崎花菜先生で咲歩さんのご両親も来校しました。生徒の司会進行による発表会はとてもよい形で進めることができました。



昇降口前と体育館脇バリケード設置

9月27日(水)に生徒昇降口前と体育館脇にバリケードが設置されました。保護者の送迎で走行する場合には、気を付けてお通りください。

通常、写真のように夜には閉まった状態ですので、よろしくお願ひします。



ありがとうございます 土砂撤去

9月24日(日)に地元の佐藤水道さんが牧野PTA会長の打診を受けて、校庭の土砂を撤去していただきました。休みの日に動いていただき本当にありがとうございました。

